

様式第1号（第4条関係）

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2026年6月16日

NPO法人

恵庭市市民活動センター運営協議会

理事長

様

団体名 遊暮働学きらくる村

代表者名 長谷川加愛

住所

電話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	土と暮らしの寺子屋 特別企画 未来へつなぐ食の知恵プロジェクト ～ソーラーフードドライヤーを作ろう～		
協働事業費の総額	17万4000円	補助金交付申請額	15万円
事業実施団体数	単独 ・ 複数 (団体数 2)	本事業での提案回数	1 回目
協働する担当課	保健福祉部 保健 課 担当者： 寺内（内線 812 ）		
提案事業の内容	実施期間 2026年 6月 26日から 2026年 11 月 30日まで ・地域の親子や市民を対象に、食べ物の大切さや保存の知恵を学ぶ食育ワークショップを開催する。時期は2026年7月26日10：00～12：00まできらくる村のプレハブで実施する・畑や自然の恵みから食べ物が生まれる過程を学び、食と暮らしのつながりについて理解を深める。・太陽の力を活用したソーラーフードドライヤーを製作し、自然エネルギーを活用した保存食づくりを体験する。・野菜や果物、ハーブ等を実際に乾燥させ、昔から受け継がれてきた保存技術や食品ロス削減について学ぶ。・完成したソーラーフードドライヤーを家庭へ持ち帰り、継続的な食育活動や家庭での実践につなげる。		
提案事業の目的及び期待される効果	・食べ物が土や自然の恵みから生まれていることを学び、食への感謝や食を大切にする意識を育む。・保存食づくりを通じて、食料備蓄や食品ロス削減への理解を深める。・太陽エネルギーを活用した体験により、環境に配慮した持続可能な暮らしについて学ぶ。・親子や地域住民が共に学び交流することで、地域コミュニティの活性化につなげる。・ものづくり体験を通じて主体性や創造力を育み、生きる力を身につける機会を創出する。		
提案事業の役割分担	申請団体が担う役割 事業全体の企画・運営 当日進行 担当課が担う役割 食育に関する助言・情報提供 食育講座 啓発活動の協力 連携団体が担う役割 ソーラーフードドライヤー制作指導 保存食作り		
添付書類	(1) 団体概要調書（様式第2号） (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号） (3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書		



団体概要調書

団 体 名	(ふりがな) ゆうぼうがくきらくるむら		
	遊暮働学きらくる村		
代表者氏名	(ふりがな) はせがわ かあい		
	長谷川 加愛		
事務所の所在地	[REDACTED]		
	電 話	[REDACTED]	FAX [REDACTED]
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏 名	(ふりがな) はせがわ さとし	電 話 [REDACTED]
		長谷川 諭	FAX [REDACTED]
設立年月日	2022 年 4 月 1 日	会員数	15 名
メールアドレス	[REDACTED]		
団体ホームページ	https://kirakuru22.com/		
団体の目的	遊暮働学きらくる村は、「遊ぶ・暮らす・働く・学ぶ」を一体的に体験できる場を通じて、子どもから大人までが自ら考え、選り、行動する“生きる力”を育むことを目的としています。自然や農との関わり、人とのつながり、食や暮らしの体験を通じて、地域コミュニティの活性化と持続可能な暮らしの実現を目指しています。また、多世代が交流しながら学び合い、支え合う環境をつくることで、孤立のない地域づくりや、子どもたちの健やかな成長に寄与することを目的としています。		
主な活動内容及び実績	無農業・無化学肥料による畑づくり体験・田植え、稲刈り、脱穀などの稲作体験・「一からカレーライス作り」などの食育活動・自然栽培や暮らしを学ぶ「土と暮らしの寺子屋」の開催・マルシェや販売体験を通じた実践的な学び・焚き火や自然体験などの交流イベント・子どもから大人まで参加できる多世代交流活動2022年より活動開始・これまで延べ20組前後の家族が継続的に参加・恵庭市・恵庭市教育委員会/北広島市・北広島市教育委員会/千歳市教育委員会後援事業「土と暮らしの寺子屋プロジェクト」を実施・2026年度より1反の田んぼを活用した食育・農業体験事業を開始・地域住民を対象とした畑講座、田んぼ体験、食育活動を継続開催・新聞等の地域メディアへの掲載実績あり・現在会員15名が活動に参加し、地域コミュニティづくりを推進している		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称:] [金額: 円] ☒ 無		

*複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

団体概要調書

団 体 名	(ふりがな) ベルー		
	BELUU		
代表者氏名	(ふりがな) はせがわ さとし		
	長谷川 諭		
事務所の所在地	[REDACTED]		
	電 話	[REDACTED]	FAX [REDACTED]
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方		
	氏 名	(ふりがな) はせがわさとし	電 話 [REDACTED]
		長谷川 諭	FAX [REDACTED]
	設立年月日	2025 年 2月 18 日	会員数
メールアドレス	[REDACTED]		
団体ホームページ	https://jinsei-tanosime.com/		
団体の目的	BELUU（ベルー）は、パラオ語で「土地・土台・世界・共同体」を意味する言葉です。私たちは、自然体験や実践的な学びを通して、子どもから大人までが「自分で考え、自分で選び、自分で行動する力（生きる力）」を育むことを目的としています。現代社会では、便利さと引き換えに、自ら体験し学ぶ機会が減少しています。BELUUでは、自然・食・暮らし・仕事に触れる体験を通して、人と人とのつながりを深め、自立した生き方や地域との関わりを育む活動を行っています。		
主な活動内容及び実績	タイヤ交換ワークショップ パンク対応講座 自動車の日常点検講座 サラダ摘み取り体験 食育・農業体験 自然体験イベント 生きる力を育む体験学習 地域住民の交流促進活動		
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称： 1 [金額： 円] ・無		

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団 体 名	遊暮働学きらくる村
協働事業の名称	土と暮らしの寺子屋 特別企画 未来へつなぐ食の知恵プロジェクト～ソーラーフードドライヤーを作ろう～

1. 収 入

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
参加費	18,000円	3,000円×6=18,000円 6組 (製作者) 最大人数
参加費	6,000円	1,000円×6=6,000円 3組から6組 (見学のみ)
補助金	150,000円	
合 計	174,000円	

2. 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
材料費	99,000円	木材・垂木・合板・ポリカ・網・金具・ビス・塗料
食育教材	15,000円	ハーブ・リンゴ・野菜・乾燥保存体験教材
広報費 (チラシ)	15,000円	チラシ印刷・広報物作成
保険・消耗品	20,000円	保険代・軍手・ヤスリ・接着剤・アクリル板
制作資材費	25,000円	蝶番・取手・温度計・乾燥トレイ・木材追加分
		見本含め7台作成
合 計	174,000円	

備考) 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書(様式第14号)」とともに領収証の写しを添付する必要があります。